

PowerPo 教材作成 <sup>リアルタイムアタック</sup> R T A ~5分でどこまで作れるか!?!~

滝川工業高校 加藤陽喜

## 1 前回までのあらすじ

PowerPoint の教材を紹介する中で、「日頃作るには時間がかかる。使い慣れている人でないといけないのでは?」という嬉しいご意見をいただいた。もともと、「型さえ決めれば、誰でも短時間で ICT 教材を作れるように!」を目標に試行錯誤していたため、今回は「5分」でどの程度の教材を作れるか実演してみたいと思います!ハプニングはご愛嬌☆彡

## 2 今回の挑戦

「5分で授業用教材を作れるか!?!」 ※計算式のみ簡単なものですみません。

お題 平方完成  $y=x^2+4x+7$

$$=(x+2)^2-4+7$$

$$=(x+2)^2+3$$

## 3 ポイント

料理も証明も「下準備」と「完成形のイメージ」が大事!

### ①下準備

⇒既成パーツ(数式、グラフ、図形、表など)を予め準備し、コピー「Ctrl+D」し編集する!

### ②完成形を作る

⇒板書をイメージし、1枚のスライドに数式や手書き文字を入れる。

### ③「スライドのコピペ」と「不要部分の消去」を繰り返す!

⇒ポイントになる所(発問部分など)まで数式や文字を消し、再びスライドをコピペする。

完成形から引き算するイメージで。

## 4 補足

(1)②の段階で手書き入力できると効率的!

⇒学校では「Wacom One」という手書きパッド「液タブ」を購入してもらい、共用しています。

(2)そのままでも、授業の解説などには十分に使えるが、さらに「アニメーションの追加」や「画面切り替え効果」を追加すると、インパクトを残せる。

⇒私は「インクの再生」(アニメーション)で手書き風に表現しワークシートに書き足すサインにしたり、「変形」(画面切り替え)を使って文字や図の対応を分かりやすくしたりします。

※いずれも、office365 のサブスク契約が必要…

(3) アニメーション GIF (変化する画像)で書き出せば、見て復習する手軽な反復ドリル教材に。